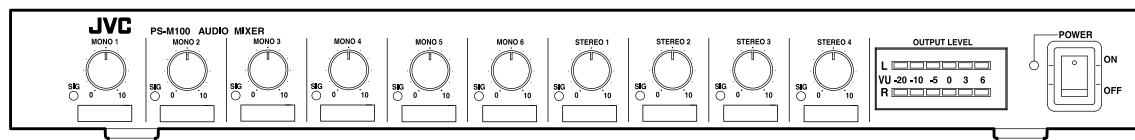


JVC

オーディオミキサー

型名 **PS-M100**

取扱説明書



お買い上げありがとうございます。
ご使用前にこの「取扱説明書」と別冊の「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときお読みください。
製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は本機に製造番号が正しく記されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているか確かめください。

LST1209-001C

特長

コンパクトミキサー

EIA 1Uサイズにモノラル6チャンネル、ステレオ4チャンネルの入力とステレオ3系統の出力を装備したコンパクトミキサーです。

トリム調節を内蔵

全チャンネルに入力感度を微調整できるトリム調節を内蔵。接続機器の出力レベルの差を補正することができます。

出力レベル調節を内蔵

全出力系統に出力レベルを微調整できる出力レベル調節を内蔵。系統ごとの音量調節が可能です。

サブ入力端子を装備

本機を複数台接続し、ミキシングチャンネル数を増やすためのサブ入力端子を装備しています。

シグナルインジケータを装備

入力チャンネルにシグナルインジケータを装備。入力チャンネルの信号の有無を容易に確認できます。

もくじ

はじめに

特長	2
もくじ	2
安全上のご注意	3
正しくお使いいただくためのご注意	4
接続例	5
各部の名称とはたらき	6
フロントパネル	6
トップカバー	6
リアパネル	7

操作

操作前の準備	8
音量調節つまみの設定	8
ラックへの組み込み	8
操作例	8


その他

ブロックダイアグラム	9
保証とアフターサービス	10
仕様	11

この取扱説明書の見かた

■本文中の記号の見かた

- ご注意** : 操作上の注意が書かれています。
- メモ** : 機能や使用上の制限など、参考になる内容が書かれています。



 : 参考ページや参照項目を示しています。





■本書記載内容について

- 本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部、または全部を弊社に無断で転載、複製などを行うことは禁じられています。
- 本書に記載されている他社製品名は、一般に各社の商標、または登録商標です。本書では™、®、©などのマークは省略してあります。
- 本書に記載されたデザイン、仕様、その他の内容については、改善のため予告なく変更することがあります。

安全上のご注意

別冊の「安全上のご注意」の内容に追加したご注意文です。ご使用前によくお読みの上、正しくお使いください。
絵表示の説明については、別冊の「安全上のご注意」を参照してください。

 警告	
本機の上に火のついたものを置かない 火のついたローソクなどを置くと、火災の原因となります。	
天面のレベル調節用の穴や底面の通風孔からクリップなどの異物を挿入したり、水などの液体をこぼしたりしない 内部回路がショートし火災の原因になることがあります。	
本機は日本国内専用です 必ず商用電源 AC100V 50Hz/60Hz で使用してください。	
本機の設置は、技術を必要とします 設置工事は必ず、販売店または専門の 工事店に依頼してください。	

 注意	
電源プラグが容易に抜き差しできる空間を設ける 機器はコンセントに容易に手が届く位置に設置し、異常が起きた場合すぐに電源プラグをコンセントから抜いてください。	 
製品に悪い影響を与えるので、ほこりや振動の多い所には置かない	

正しくお使いいただくため のご注意

保管および使用場所

- 次のような場所に置かないでください。誤動作や故障の原因となります。
 - 許容動作温度 (0 °C ~ 40 °C) 範囲外の暑いところや寒いところ
 - 許容動作湿度 (20 %RH ~ 80 %RH) 範囲外の湿気の多いところ
 - 変圧器やモーターなど強い磁気を発生するところ
 - トランシーバーや携帯電話など電波を発生する機器の近く
 - ほこりや砂の多いところ
 - 振動の激しいところ
 - 窓ぎわなど水滴の発生しやすいところ
 - 厨房など蒸気や油分の多いところ
 - 放射線や X 線、および腐食性ガスの発生するところ

取り扱いについて

- 本機の上に水の入ったもの (花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など) を置かないでください。機器の内部に水が入ると、火災や感電の原因となります。
- 内部に物を入れないでください。通風孔などから、金属類や燃えやすいものなどを入れると火災や感電の原因となります。
- 本機の上に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。
- 通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと、内部の熱が逃げないので火災の原因となります。
- 本機の上に物を置かないでください。テレビモニターのような重いものや、本機からはみ出るようなものを置くとバランスが崩れて倒れたり、落ちたりしてケガの原因となることがあります。
- 横倒しや逆さまに設置しないでください。安定した水平な場所に置いて使用してください。
- 長時間音がひずんだ状態で使用しないでください。過大入力での使用は、本機だけでなく、接続しているパワーアンプやスピーカーなどの破損の原因となります。

移動について

- 移動するときは接続コード類ははずしてください。移動するときは、電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
- 本機を箱から取り出すときや、移動の際に持ち運ぶときは、誤って落とさないよう、十分注意して取り扱ってください。

お手入れについて

- 本機は柔らかい布でふいてください。シンナーやベンジンでふくと表面がとけたり、くもったりします。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤を布につけてふき、あとでからぶきしてください。
- 殺虫剤など揮発性の薬品をかけたり、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。プラスチックの中に含まれる可塑剤 (かそざい) の働きによって変質したり、塗装がはげるなどの原因となります。

省エネについて

- 長時間使用しないときは、安全および節電のため、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源コードについて

- 電源コードの上に重いものを乗せたり、コードを本機の下敷きにしないでください。コードが傷ついて、火災・感電の原因となります。

その他

- 落雷などにより電源電圧が変動した場合、システム保護のため電源電圧が安定するまで操作できないことがあります。
- 本機および本機に接続したケーブルを強い電波や磁気の発生するところ (例、ラジオ、テレビ、変圧器、モニターなどの近く) で使用すると、本機の動作に影響が出ることがあります。

ミュート動作について

- 電源を入れてから 1 秒 ~ 3 秒間は音が出ませんが、これはミュート動作のためで、故障ではありません。

電源の投入について

- すべての結線が終了してから本機の電源を入れてください。接続コードの抜き差しは電源を切ってから行なってください。
- 周辺機器と組み合わせる場合、パワーアンプの電源を最後に入れてください。ノイズなどによるスピーカーの破損を防止できます。

配線について

- 電力線と入力信号線はできるだけ離して接続してください。電源コードやスピーカーケーブルなどの電力線とマイクケーブルなどの入力信号線を近づけると、機器の動作が不安定になり、動作不良の原因となります。10 cm 以上は離して配線してください。

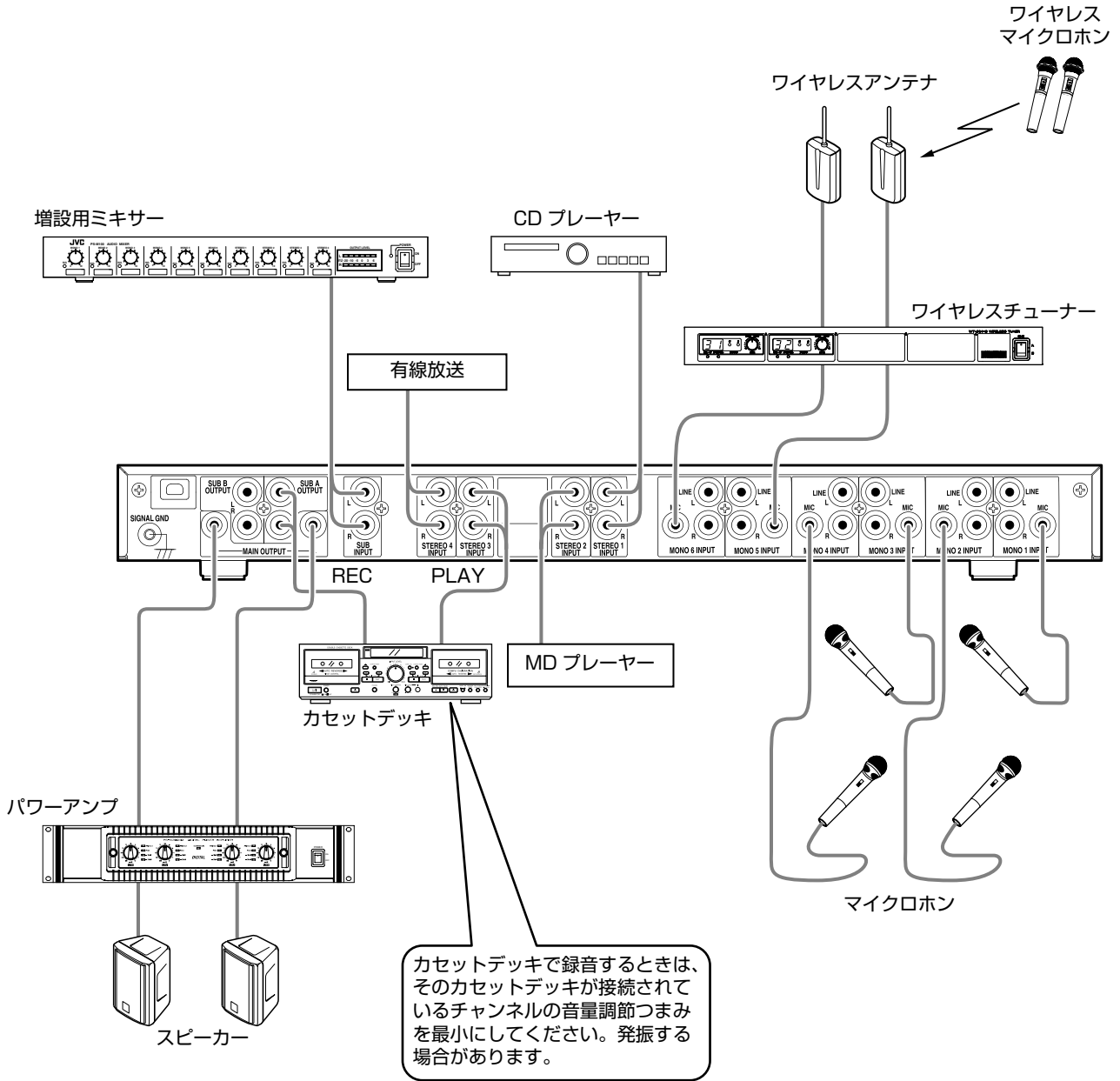
マイクのバランスケーブルの使用について

- アンバランス (不平衡) タイプのケーブルを 5 m 以上延長すると、電源からの誘導雑音 (ブーンという音) や調光ノイズなどの影響を受けやすくなります。マイクケーブルを延長する場合は、バランス (平衡) タイプのケーブルを使用してください。

設置場所について

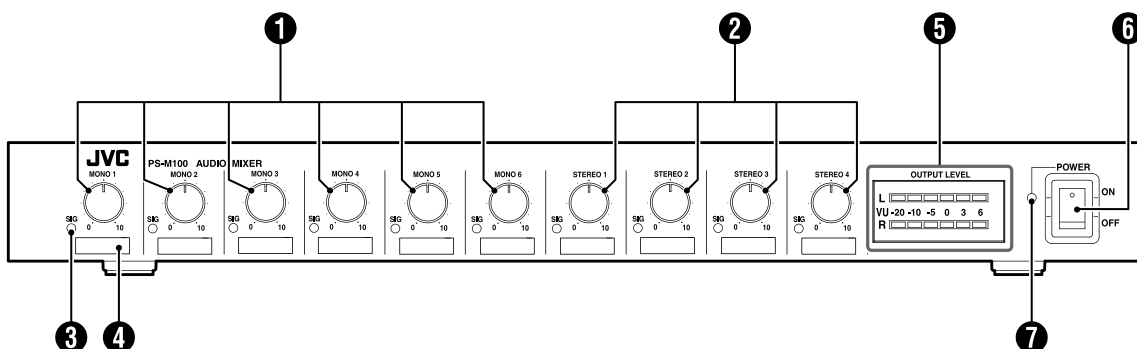
- 本機の放熱が不十分になると故障の原因となります。本機周辺の通風を妨げないようにしてください。

接続例



各部の名称とはたらき

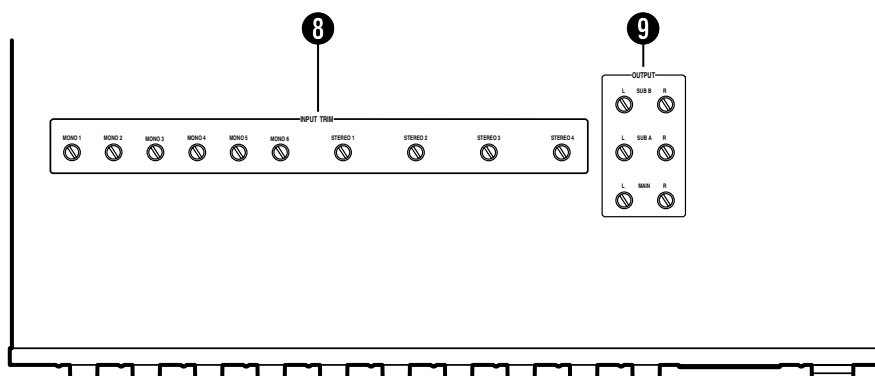
フロントパネル



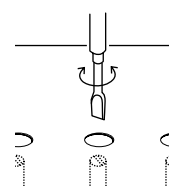
- ① [MONO1 ~ 6] モノラル音量調節つまみ**
各モノラルチャンネルの音量を調節します。通常は中央の目盛り付近でご利用ください。
- ② [STEREO1 ~ 4] ステレオ音量調節つまみ**
各ステレオチャンネルの音量を調節します。通常は中央の目盛り付近でご利用ください。
- ③ [SIG] シグナルインジケータ（緑色ランプ）**
信号が入力されていると、それに対応したチャンネルのインジケータが点灯します。どのチャンネルに信号が入力されているかを容易に確認できます。
- ④ ラベル貼付部**
ラベルテープなどでシールを作成し、貼り付けてご利用ください。サイズは、幅 19mm × 高さ 6mm です。

- ⑤ [OUTPUT LEVEL] アウトプットレベルインジケータ**
メイン出力のレベルを表示します。出力レベルが 4dBu (OdBu=0.775V) のときインジケータは“OVU”を示します。
- ⑥ [POWER] 電源スイッチ**
スイッチを“ON”側にすると電源が入ります。1秒～3秒後に出力リレーが入り動作状態になります。電源を切るときは“OFF”側にします。
- ⑦ 電源ランプ**
本機に電源が入ると点灯します。

トップカバー



調整方法

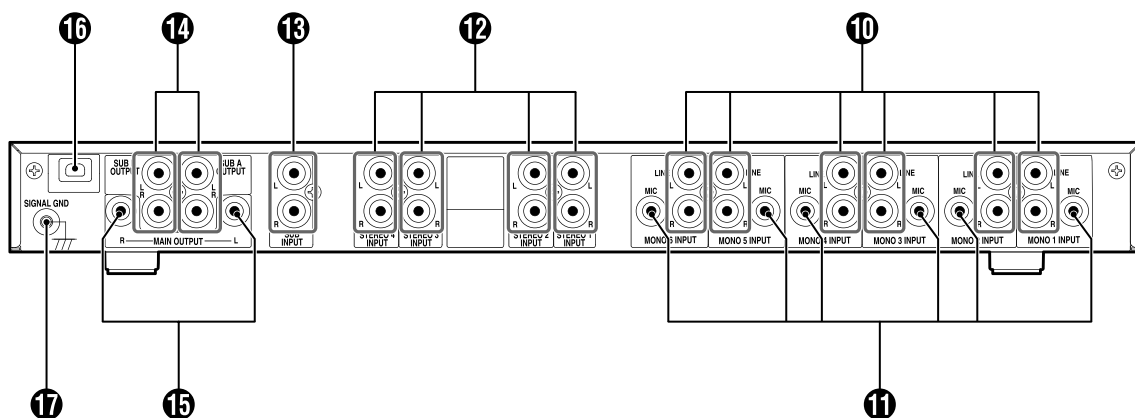


マイナスドライバーを使用してください。

- ⑧ [INPUT TRIM] 入力感度調節**
各チャンネルごとの入力感度を微調整します。音量調節つまみ ① ② が中央位置で音量が大きすぎる場合、このつまみを左 (↶) に回すことにより、減少させることができます。

- ⑨ [OUTPUT] 出力レベル調節**
接続されている機器の入力感度にあわせて、各出力音量を個別に調節します。
MAIN (メイン) : MAIN OUT L, R の音量を調節します。
SUB A/B (サブ) : SUB A/B OUT L, R の音量を調節します。

リアパネル



⑩ [MONO 1 ~ 6 INPUT LINE] モノラルライン入力端子

-20dBu/10kΩ 不平衡 (ピンジャック)
CD プレーヤーやカセットデッキなどの機器を接続する端子です。内部で L、R がモノラルにミキシングされます。

⑪ [MONO 1 ~ 6 INPUT MIC] マイク入力端子
-60dBu/600Ω 電子平衡 (複式フォンジャック)
マイクロホンを接続する端子です。

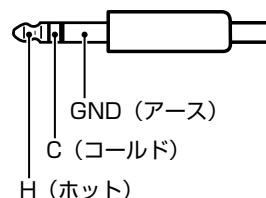
⑫ [STEREO 1 ~ 4 INPUT] ステレオ入力端子
-20dBu/10kΩ 不平衡 (ピンジャック)
CD プレーヤーやカセットデッキなどの機器を接続する端子です。

⑬ [SUB INPUT] サブ入力端子
-10dBu/10kΩ 不平衡 (ピンジャック)
本機を 2 台並列接続して、20 チャンネルミキサーとして使用するときの接続端子です。増設した PS-M100 の“SUB A”または“SUB B”出力端子と接続します。

ご注意：
● 本機の底面に放熱用のスリットがあります。ラックに組み込むときは 2 台を重ねて設置せずに、1 U (約 44mm) 以上のスペースを取ってください。

⑭ [SUB A/B OUTPUT] サブ A/B 出力端子
-10dBu/10kΩ 不平衡 (ピンジャック)
各入力信号をミキシングした信号が出力されます。本機を 2 台並列接続するときの出力端子や、カセットデッキの録音用出力端子、モニター用パワーアンプの接続端子として使用できます。

⑮ [MAIN OUTPUT] メイン出力端子
+4dBu/10kΩ 電子平衡 (φ6.3 複式フォンジャック)
各入力信号をミキシングした信号が出力されます。パワーアンプなどを接続します。接続は複式フォンプラグをご使用ください。



⑯ 電源コード
必ず商用電源 AC100V に接続してください。

⑰ [SIGNAL GND] シグナル接地端子
システム配線時に、機器同士のシャーシアースをとる場合に使用します。
安全アースではありません。

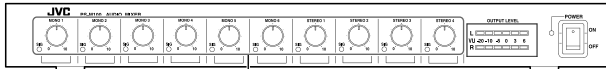
ご注意：
● ご使用のマイクロホンは出力インピーダンスが 50Ω ~ 600Ω のものをお選びください。
● マイクケーブルが長い場合 (5m 以上) ハム音などが発生しやすくなりますので、必ずバランス (平衡) 型のマイクロホンをご使用ください。
● マイクホンとラインの同一チャンネル内での併用はさけてください。音がひずむ原因となります。

操作前の準備

音量調節つまみの設定

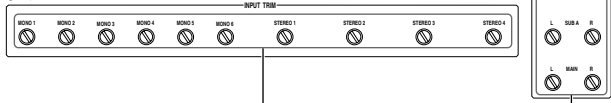
ご使用の前に次の要領で各つまみを調節してください。

フロントパネル



2, 5

トップカバー



5

8

- 1 接続例 (5 ページ) を参考にして、各機器を接続する
- 2 フロントパネルの音量調節つまみを最小位置 (目盛り“0”) にする
- 3 接続したパワーアンプの入力レベル調節つまみを左いっぱいに戻す
- 4 入力機器 (CD プレーヤーなど)、本機、パワーアンプの順に電源を入れる (最後にパワーアンプの電源を入れる)
- 5 接続した入力機器を動作させ、フロントパネルの音量調節つまみを中央～3 時位置のあいだにする。このとき、アウトプットレベルインジケータの“6” VU が点灯する場合は、トップカバーの入力感度調節を左に回し、“0” VU が点灯する状態にする (“3” VU は時々点灯する状態)
- 6 手順5の操作を使用するチャンネルすべてで行う
- 7 使用するパワーアンプの入力レベル調節つまみを徐々に右に回し、“-10dB” の位置まで上げる
- 8 スピーカーの音量が大きすぎる場合は、トップカバーの出力レベル調節を左に回し、音量を下げる。スピーカーの音量が小さい場合は、パワーアンプの入力レベル調節つまみを右に回し、音量を上げる
- 9 接続した機器の音量のバランスを再度確認して、音量調節を完了する

ラックへの組み込み

ラックへの組み込みを行う前に、必ず音量調節つまみの設定を行なってください。

別売りラックマウント金具 PS-RU11 が必要です。

取付方法は PS-RU11 に添付の取扱設置説明書を参照してください。

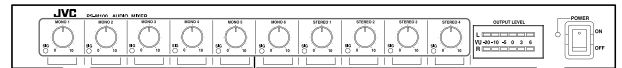
ご注意：

- ラックに組み込むときは、パワーアンプの近くはさけてください。パワーアンプの電源トランスの影響で、ハム音が発生する場合があります。1 U (約 44mm) 以上のスペースを取ってください。
- ラックマウント金具の取り付けは、必ずラックマウント金具に添付のねじを使用してください。

操作例

次の手順で操作してください。

フロントパネル



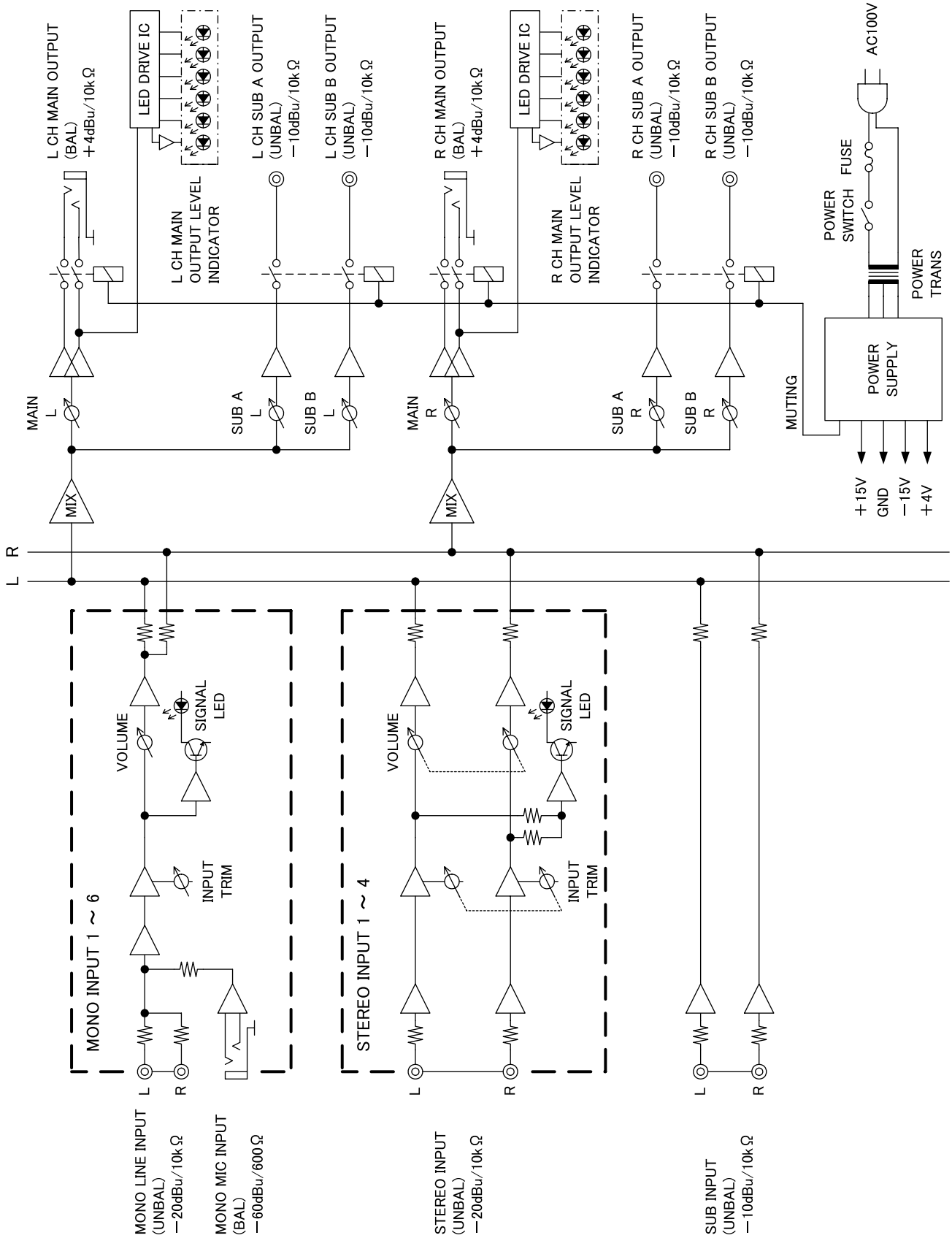
4

- 1 パワーアンプ以外の機器の電源を入れる
- 2 パワーアンプの電源を入れる
- 3 ミキシングする機器を動作状態にする
- 4 ミキシングするチャンネルの音量調節つまみで音量を微調整する
- 5 電源を切るときは、パワーアンプから順番に電源を切る

万一の事故の防止のために：

- 電源を入れる前に音量調節つまみを最小に！突然の大音量によるスピーカーの破損事故を未然に防止できます。
- 電源を入れるときは信号の流れに沿って！電源を入れるときはパワーアンプを最後に。電源を切るときはこの逆にパワーアンプから。ミキサーに接続した機器の電源投入時のノイズによるスピーカーの破損を防止できます。
- ご使用のとき、マイクロホンの音声はひずむようでしたらトップカバーの入力感度調節で調節してください。

ブロックダイアグラム



保証とアフターサービス

商品廃棄について

この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例に従って適切に処理してください。

保証書の記載内容ご確認と保存について

この商品には保証書を別途添付しております。保証書はお買い上げ販売店でお渡しますので所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

保証期間について

保証期間は、お買い上げ日より1年間です。保証書の記載内容により、お買い上げ販売店が修理いたします。なお、修理保証以外の補償はいたしかねます。故障その他による営業上の機会損失は補償致しません。その他詳細は保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

サービス窓口

- ・下記 URL をご覧ください。
<http://www3.jvckenwood.com/pro/service.html>
- ・業務用修理窓口 (045-939-7320)

サービスについてのお問い合わせ先

修理・保守・設置工事については、お買い上げ販売店または最寄りのサービス窓口にご相談ください。

修理を依頼されるときは

お買い上げ販売店、またはサービス窓口に必要なことをお知らせください。

品名	: オーディオミキサー
型名	: PS-M100
お買い上げ日	:
故障の状況	: 故障の状態をできるだけ具体的に
ご住所	:
お名前	:
電話番号	:

仕様

■ 入力回路

マイク入力 1 ~ 6
: -60 dBu/600 Ω 電子平衡
(φ6.3 複式フォンジャック)

モノラルライン入力 1 ~ 6
: -20 dBu/10 kΩ 不平衡
(ピンジャック)

ステレオ入力 1 ~ 4
: -20 dBu/10 kΩ 不平衡
(ピンジャック)

サブ入力
: -10 dBu/10 kΩ 不平衡
(ピンジャック)

■ 出力回路

メイン出力
: +4 dBu/10 kΩ 電子平衡
(φ6.3 複式フォンジャック)

サブ出力 A、B
: -10 dBu/10 kΩ 不平衡
(ピンジャック)

■ 総合仕様

周波数特性

マイク入力 : 300 Hz ~ 15 kHz ± 1.5 dB
100 Hz -3.5 dB ~ -0.5 dB
(1 kHz 基準)

モノラルライン入力

ステレオ入力 : 50 Hz ~ 10 kHz ± 1 dB
20 Hz ~ 20 kHz ± 2 dB
(1 kHz 基準)

サブ入力 : 20 Hz ~ 20 kHz ± 1.5 dB
(1 kHz 基準)

全高調波歪率 : 0.1 % 以下 (ステレオ入力時)

入力換算雑音 : -120 dB 以下
(マイク入力 150 Ω 終端、IHF-A フィルター、メイン出力)

出力レベルインジケータ

: LED 6 素子 × 2 (メイン出力)

入力シグナルインジケータ

: モノラル入力、ステレオ入力に装備

電源 : AC 100 V、50 Hz/60 Hz

消費電力 : 14 W

質量 : 4.5 kg

仕上げ (パネル) : 黒色塗装 (マンセル N1 近似)

許容動作温度 : 0 °C ~ 40 °C

許容動作湿度 : 20 %RH ~ 80 %RH
(結露なきこと)

※本書のレベル表記の dBu はすべて 0 dBu = 0.775 V です。

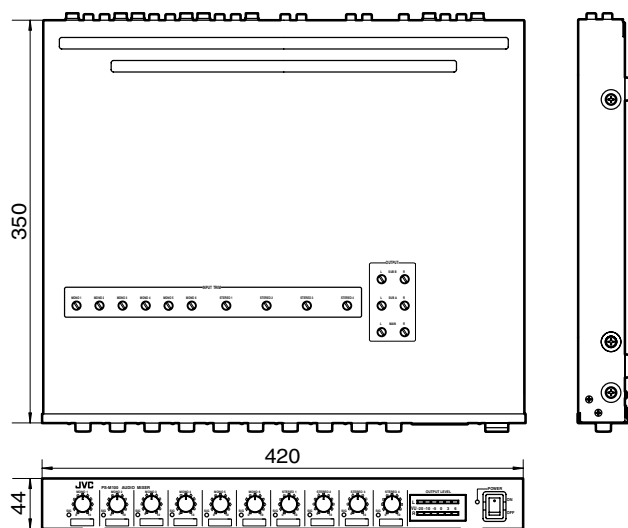
■ 添付物・付属品

取扱説明書 1
安全上のご注意 1
保証書 1

■ 適合金具

ラックマウント金具 : PS-RU11 (別売)

■ 外形寸法図 [単位 : mm]



※本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

JVCケンウッド
カスタマーサポートセンター

固定電話  0120-2727-87

携帯電話・PHS  0570-010-114

一部のIP電話など 045-450-8950

FAX 045-450-2308

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

ご相談窓口におけるお客様の個人情報は、お問合せへの対応、修理およびその確認に使用し、適切に管理を行い、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

ホームページ <http://www3.jvckenwood.com/>

株式会社 JVCケンウッド・公共産業システム

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12